

認定プログラムの名称	JCSS (国際 MRA 対応)
認定識別	JCSS 0214 Calibration
認定された適合性評価機関の名称	株式会社大手技研 テクノロジーセンター 校正サービスグループ
法人の名称	株式会社大手技研 法人番号 7050001015449
問い合わせ窓口	テクノロジーセンター 校正サービスグループ TEL : 029-840-9111 FAX : 029-840-9100



20210119 評基認第 001 号  
2021 年 1 月 19 日

# 認 定 証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を JCSS 認定プログラムの校正事業者として認定する。

認 定 識 別: JCSS 0214 Calibration

適合性評価機関の名称: 株式会社大手技研 テクノロジーセンター  
校正サービスグループ

法 人 の 名 称: 株式会社大手技研

適合性評価機関の所在地: 茨城県かすみがうら市中台 258 番地 1

認 定 範 囲: 質量、圧力、温度 (詳細は別紙のとおり)

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017

認定スキーム文書 (JCSS 認定) に記載した  
認定要求事項

認 定 発 効 日: 2019 年 7 月 29 日

認定の有効期限: 2023 年 7 月 28 日

初回認定発効日: 2008 年 6 月 11 日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長 岸本 勇夫

- ・ IAJapan (独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター) は、ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び APAC (アジア太平洋認定協力機構) の MRA (相互承認取決め) に署名している認定機関です。
- ・ 相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準 (該当する国際規格) 適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項 (方針) を指します。
- ・ この事業者は ISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです (2017 年 4 月 ISO-ILAC-IAF 共同コミュニケ参照)。
- ・ IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

登録(認定)に係る区分：質量

法律に基づく初回登録年月日：2009年9月1日

国際MRA対応初回認定発効日：2009年9月1日

校正手法の区分の呼称 [登録更新(認定発効)年月日]：分銅等 [2019年7月29日]

恒久的施設で行う校正 / 現地校正の別：恒久的施設で行う校正

校正測定能力

校正手法の 区分の呼称#	種類	校正範囲	拡張不確かさ (協定質量の校正) (信頼の水準約95%)
分銅等	分銅	1 mg	0.005 mg
		2 mg	0.005 mg
		5 mg	0.005 mg
		10 mg	0.005 mg
		20 mg	0.005 mg
		50 mg	0.005 mg
		100 mg	0.010 mg
		200 mg	0.010 mg
		500 mg	0.010 mg
		1 g	0.050 mg
		2 g	0.050 mg
		5 g	0.15 mg
		10 g	0.15 mg
		20 g	0.15 mg
		50 g	0.15 mg
		100 g	0.15 mg
		200 g	0.20 mg
		500 g	2.0 mg
		1 kg	2.0 mg
		2 kg	3.0 mg
	5 kg	10 mg	
	10 kg	25 mg	
	おもり	1 mg 以上 2 g 以下	0.05 mg
		2 g 超 200 g 以下	0.5 mg
		200 g 超 1 kg 以下	4.0 mg
		1 kg 超 2 kg 以下	6.0 mg
		2 kg 超 5 kg 以下	15 mg
5 kg 超 15 kg 以下		50 mg	

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

登録(認定)に係る区分: 圧力

法律に基づく初回登録年月日: 2008年6月11日

国際MRA対応初回認定発効日: 2008年6月11日

校正手法の区分の呼称 [登録更新(認定発効)年月日]: 圧力計 [2019年7月29日]

恒久的施設で行う校正 / 現地校正の別: 恒久的施設で行う校正

校正測定能力

校正手法の 区分の呼称#	種類			校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準約 95 %)	
圧力計	重錘形 圧力天びん	気体	ゲージ 圧力	10 kPa 以上 350 kPa 以下	0.0035 %又は1.0 Pa のうち大きい方の値	
				350 kPa 超 7000 kPa 以下	0.0037 %又は19 Pa のうち大きい方の値	
		液体	ゲージ 圧力	0.1 MPa 以上 100 MPa 以下	0.0060 % 又は 0.60 kPa のうち大きい方の値	
				100 MPa 超 200 MPa 以下	0.0070 %	
				200 MPa 超 350 MPa 以下	0.010 %	
				350 MPa 超 400 MPa 以下	0.013 %	
		圧力計 (デジタル圧力計、 圧力変換器)	気体	絶対 圧力	10 kPa 以上 7000 kPa 以下	0.0040 % 又は 4.0 Pa のうち大きい方の値
					ゲージ 圧力	-90 kPa 以上 -10 kPa 以下
	ゲージ 圧力			10 kPa 以上 7000 kPa 以下	0.0040 % 又は 1.0 Pa のうち大きい方の値	
	液体		絶対 圧力	0.2 MPa 以上 100 MPa 以下	0.0060 % 又は 0.60 kPa のうち大きい方の値	
				100 MPa 超 200 MPa 以下	0.0070 %	
				200 MPa 超 350 MPa 以下	0.010 %	
			350 MPa 超 400 MPa 以下	0.013 %		
			ゲージ 圧力	0.1 MPa 以上 100 MPa 以下	0.0060 % 又は 0.60 kPa のうち大きい方の値	
	ゲージ 圧力	100 MPa 超 200 MPa 以下		0.0070 %		
	ゲージ 圧力	200 MPa 超 350 MPa 以下	0.010 %			
		350 MPa 超 400 MPa 以下	0.013 %			
	機械式圧力計	気体	ゲージ 圧力	-90 kPa 以上 -10 kPa 以下	100 Pa	
				10 kPa 以上 7000 kPa 以下	最大圧力の0.10 %	
		液体	ゲージ 圧力	0.1 MPa 以上 200 MPa 以下	最大圧力の0.10 %	

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

登録(認定)に係る区分: 温度

法律に基づく初回登録年月日: 2013年9月5日

国際MRA対応初回認定発効日: 2013年9月5日

校正手法の区分の呼称 [登録更新(認定発効)年月日]: 接触式温度計 [2019年7月29日]

恒久的施設で行う校正 / 現地校正の別: 恒久的施設で行う校正

校正測定能力

校正手法の 区分の呼称#	種類	校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準約 95 %)
接触式温度計	指示計器付温度計 (比較校正法)	0 以上 100 以下	0.050 K

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。